とうせん
唐泉
2022年度 うれしの特別支援学校だより
8-9月号
No.141
〒849-1425
嬉野市塩田町大字五町田甲2877番地1
TEL 0954-66-4911・FAX 0954-66-4936
E-mail ureshinotokubetsushien@education.saga.jp

希望し　努力し　感謝し

４月から本校に副校長として赴任いたしました末永茂寿（すえなが　しげひさ）と申します。前任校の佐賀大学教育学部附属特別支援学校を経て、本校勤務は３年ぶり、今回で３回目の勤務となりました。子供たちの元気な声と笑顔あふれる本校でまた勤務できることに、喜びと同時に責任を感じています。

新型コロナウイルス感染症はいまだ気が抜けない状況が続いています。今年度、いろいろな制限をしながらではありますが、４月のＰＴＡ総会や５月の体育祭などの学校行事を保護者様の参加をもって開催することができました。

学校は年間を通して大小様々な行事が行われます。それぞれに意義やねらいがありますが、行事を通して児童生徒の成長を図ることが目的の一つでもがあります。成長を実感することが本人の自信につながります。今後も工夫しながら今学校がやるべきことをしっかりと考え、精一杯取り組んでいきたいと思います。

児童生徒のみなさんに一つお願いがあります。それは「何か新しいことに挑戦しよう」ということです。新しいことに挑戦することは、「失敗したら・・・」、「恥をかかないかな・・・」など多くの不安を伴いますが、しかし大切なことは結果ではなく過程です。いろいろな障壁を乗り越えた経験（乗り越えようとする気持ち）こそが大切なのです。挑戦なくしては、成長をすることができません。今年最低一つ、挑戦することを決め、チャレンジしてください。「希望（目標をもち）し、努力し、感謝し」毎日の生活を送ってください。

今後も保護者や地域の皆様のお力を拝借しながら、明るく安全な学舎になるよう尽力していきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

障害特性の理解と支援についての職員研修を行いました

８月２２日（月）に、NPO法人佐賀それいゆの吉永菜穂子先生を講師にお招きして、「ASD及び強度行動障害の理解と支援について」の職員研修を行いました。講話を通して、自閉スペクトラム症の支援について、障害特性を知り、本人視点で困っている行動のアセスメントを行い、苦手なことに配慮し得意なことを活用すること、また、支援を引き継ぐ際も、一つ一つの意味を考え必要な支援のエッセンスを引き継ぎ、常に本人に合った形で整理していくこと、さらに、本人が地域で暮らしていくために、障害特性や配慮すべきことについて共通理解をもち、家族・学校・医師・行政などそれぞれの立場で協力しながらチーム支援を行うことなどをお聞きし、今後の支援について考える貴重な場となりました。

人権・同和教育の職員研修を行いました

８月１８日（木）に本校で人権・同和教育の職員研修を行いました。今年度は「インターネット時代における同和問題」をテーマにした人権啓発DVDを視聴しました。今年も多くの職員が参加し、「自分が気づいていないことで知らず知らずのうちに差別していることはないか、改めて考えさせられる時間となりました。」「自分は偏見や差別をしないという思い込みが一番怖いと思った。もしかしたらこれは偏見や差別につながる？という疑いを持って生活を送りたい。」など多くの感想や質問、要望が寄せられました。

食物アレルギーに関する研修会を行いました。

８月22日（月）に、食物アレルギーに関する職員研修会を行いました。
食物アレルギーは、幼少期より症状が出る場合の他、突然新規で発症する場合もあります。県内の学校でも、毎年数件の新規発症者が出ています。その中には、給食時間以外の、日常の学校生活を送るうえで発症してしまった事例もありました。今年は、誤った対応事例を用いることで、日々の指導を見直し、危機管理を高める研修を目指しました。『食物アレルギーは「これまで発症したことがない人でも発症することがある」ので、常に緊張感を持って子どもたちの様子を観察するという意識を高めることができた。職員間での情報共有、緊急時の対応についても、改めて確認が必要だと感じた。』、『自分が担当している生徒に食物アレルギーがあるため、危機感を持って話を聞くことができた。最悪の事故につながった事例を知り、とても怖い気持ちになったとともに、「防ぐことができたはずだった」という言葉がとても印象的でした。今後に活かしたいと思います。』といった感想が寄せられました。

進路指導部より

福祉事業合同ガイダンスを開催しました！

進路指導部では、７月29日（金）に令和４年度「福祉事業ガイダンス」を開催しました。新型コロナウイルス感染症予防のため昨年度は中止となりましたが、皆様のご協力のもと、今年は無事開催することができました。感染対策にご協力いただきありがとうございました。全体会では本校の概要と進路指導について、そして社会福祉法人たちばな会様より福祉制度とサービス利用について説明がありました。その後、参加者の皆さんには興味のある事業所の説明を３ヵ所聞いていただきました。参加者の皆さんからは「将来のことについて考えるきっかけになった。」「感染症対策が行われ安心して参加できた。」「事業所の方から直接説明を聞くことができ、大変貴重な機会だったと思う。」との感想をいただきました。今回のガイダンスをきっかけに是非、事業所見学にもつなげていただければと思います。今年度はガイダンスだけではなく、夏休み前に令和４年度福祉事業所紹介リーフレットも配布しています。高等部では１０月２４日（月）から１１月１１日（金）までの３週間（期間や日数は学年やコースで異なる）で就業・施設体験を実施する予定です。また、中学部３年生でも１週間実施する予定です。

校区内には多くの福祉施設があり、その事業や作業の内容も様々です。積極的に話を聞いたり、見学をしたりして情報の収集に努めましょう。合わせて、正面玄関の「進路コーナー」には福祉事業所のパンフレットや前期就業・施設体験先などの情報を掲示していますので、ご自由にご覧になってください。

相談支援部より

本校では、地域の特別支援教育の推進のために、地域のセンター的機能を果たすべく、教育相談・巡回相談等を行っています。どうぞ、ご活用ください。

相談支援部担当：進藤・川﨑貴・川﨑絵　　ＴＥＬ　０９５４－６６－４９１１

HPにも記事を掲載しています。https://www.education.saga.jp/hp/ureshinotokubetsushien/